



2025年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月16日

上場会社名 日本精蠟株式会社
コード番号 5010 URL <https://www.seiro.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 瀧本 丈平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 伊藤 宜広 TEL 03-3538-3061
定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 有価証券報告書提出予定日 2026年3月25日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期	19,776	10.3	1,173	47.8	680	59.5	697	60.7
2024年12月期	22,045	1.6	2,245		1,682		1,776	

(注) 包括利益 2025年12月期 704百万円 (62.7％) 2024年12月期 1,889百万円 (％)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年12月期	35.33	27.99	11.6	2.4	5.9
2024年12月期	89.96	58.65	37.6	5.6	10.2

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 百万円 2024年12月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期	27,279	6,378	23.4	322.97
2024年12月期	29,725	5,673	19.1	287.30

(参考) 自己資本 2025年12月期 6,378百万円 2024年12月期 5,673百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	3,686	596	2,729	2,728
2024年12月期	2,943	149	2,367	2,297

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年12月期		0.00		0.00	0.00			
2025年12月期		0.00		0.00	0.00			
2026年12月期(予想)								

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	21,100	6.7	1,800	53.4	1,300	91.0	800	14.7	40.51

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2025年12月期	22,400,000 株	2024年12月期	22,400,000 株
2025年12月期	2,650,747 株	2024年12月期	2,650,747 株
2025年12月期	19,749,253 株	2024年12月期	19,749,253 株

(参考) 個別業績の概要

2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日 ~ 2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	18,233	11.3	749	58.3	505	61.9	567	58.9
2024年12月期	20,547	1.1	1,797		1,324		1,382	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	28.75	24.04
2024年12月期	70.03	47.21

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	24,837	4,829	19.4	244.55
2024年12月期	26,950	4,333	16.1	219.41

(参考) 自己資本 2025年12月期 4,829百万円 2024年12月期 4,333百万円

< 個別業績の前期実績値との差異理由 >

添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況 (当期事業概況と成果)」に記載した事項と同様の理由により、前事業年度の実績値と当事業年度実績値との間に差異が生じております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 事業環境

当連結会計年度（2025年1月1日～2025年12月31日）における当社グループの事業環境を概観しますと、日本経済は底堅く推移し、緩やかな回復基調を維持した一方、春闘賃上げ率が昨年に引き続き高いレベルとなるなど、労務費の上昇傾向が継続しました。海外においては、米国では堅調に推移してきた経済の先行きに懸念が生じ、中国では経済成長の鈍化が続きました。こうした中、日本円の対主要通貨の為替レートは円安で推移し、原油価格は安定的に推移しました。

② 事業の経過及び当期の経営方針等に基づく諸施策の実施状況

当社グループの当連結会計年度の業績予想においては、財務体質の健全化を目的に棚卸資産（在庫）の削減を進めるため、キャッシュ・フローは前期より良化するものの、利益は減少するとしておりました。実績としては、主に上期において販売が低調であったことにより、利益は当初予想を下回る結果となりましたが、棚卸資産削減を計画通りに進めたことで、キャッシュ・フローは当初予想を上回り、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第参号投資事業有限責任組合から借り入れた資本性劣後ローン30億円のうち、元本15億円相当額を期限前弁済しました。

また、2026年度から徳山工場のリニューアルに取り組むことに伴い、撤去する予定の旧設備の減損処理による特別損失を計上しました。

③ 当期事業概況と成果

当連結会計年度の業績は、以下のとおりです。

	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年同期比
・国内ワックス販売 売上高（百万円）	13,652	13,217	△435
数量（トン）	25,732	24,622	△1,109
・輸出ワックス販売 売上高（百万円）	6,541	5,509	△1,031
数量（トン）	18,310	15,345	△2,965
・重油販売 売上高（百万円）	1,703	935	△768
数量（キロリットル）	17,920	11,400	△6,520
・その他商品販売 売上高（百万円）	147	113	△33
・総売上高（百万円）	22,045	19,776	△2,269
・営業利益（百万円）	2,245	1,173	△1,072
・経常利益（百万円）	1,682	680	△1,001
・親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,776	697	△1,079

(販売)

ワックスについては、主に上期におけるトランプ関税などによる世界経済の先行き不透明感を背景とした需要減退の影響により、下期は回復基調となったものの、販売数量は対前期比で9%減少しました。一方、販売単価は物流費等の高騰に伴う価格改定と高付加価値品販売への集中により2%上昇しました。

重油については、逆ザヤ取引となっているため削減を進めており、ワックス収率の向上と在庫削減に伴う生産数量の減少で、販売数量は36%減少しました。

(売上高、損益)

売上高は前年同期比2,269百万円減の19,776百万円、営業損益は同比1,072百万円減の1,173百万円の利益、経常損益は同比1,001百万円減の680百万円の利益、親会社株主に帰属する当期純損益は同比1,079百万円減の697百万円の利益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は前連結会計年度末に比較して2,446百万円減少し27,279百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加額531百万円、受取手形及び売掛金の減少額343百万円、商品及び製品の減少額1,468百万円、原材料及び貯蔵品の減少額828百万円、有形固定資産合計の減少額365百万円等によるものです。

これに対して負債合計は、前連結会計年度末に比較して3,150百万円減少し20,901百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少額514百万円、短期借入金の減少額1,145百万円、長期借入金の減少額1,478百万円等によるものです。

また純資産合計は、前連結会計年度末に比較して704百万円増加し6,378百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加額697百万円等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して431百万円増加し2,728百万円となりました。

当連結会計年度末における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,686百万円（前年同期比743百万円の収入増）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益620百万円、減価償却費862百万円、棚卸資産の減少額2,312百万円、仕入債務の減少額518百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、596百万円（前年同期比446百万円の支出増）となりました。これは主として有形及び無形固定資産の取得による支出500百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,729百万円（前年同期比361百万円の支出増）となりました。これは主として短期借入金の純減額1,178百万円、長期借入金の返済による支出1,511百万円等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
自己資本比率 (%)	23.1	16.3	12.6	19.1	23.4
時価ベースの 自己資本比率 (%)	11.2	7.6	8.6	17.4	13.8
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	28.4	—	14.8	6.4	4.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	4.0	—	6.3	14.3	6.5

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) 連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結財務諸表に記載されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(注5) 2022年12月期は営業キャッシュ・フローがマイナスであったためキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載していません。

(4) 今後の見通し

2026年は以下の施策を実施して参ります。

① 重要な施策

- a) 新規高付加価値ワックスへの集中に向けた以下の取り組みを進めます。
 - ・研究開発費を増額させ、外部機関との協業も行い、新規製品の開発を加速させます。
 - ・ライスワックスのサンプルワークを開始し、インキ・塗料、化粧品用途等での展開を目指します。
 - ・加工性に優れた環境に優しい水系ワックスエマルジョンについては、インキ・塗料、建材、加工紙用途等を中心に拡販を図ります。
- b) 資本性劣後ローンの当初借入額30億円のうち元本15億円相当額は前期に期限前弁済を実施しました。残額についても期中での早期返済を目指し、財務体質の健全化に努めます。
- c) 徳山工場老朽化設備の解体・撤去を実施します。跡地には新製品の製造設備や生産効率・品質の向上に寄与する設備の導入を予定しています。

② 配当の考え方

2025年12月配当につきましては、会社法第461条に定める分配可能額が無いことから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますことに株主の皆様のご理解を賜りたく存じます。

2026年12月期の配当につきましては、業績予想を上回る利益を達成し、配当を実施することを目指しますが、現時点では未定とさせていただきます。

当社といたしましては、株主の皆様への利益還元を重要課題として位置付けており、本年半ばを目途に策定予定の新たな中期経営計画の中で、株主還元に係る方針についてもお示しする予定です。

③ 業績予想(連結)

	2026年度
売 上 高 (百 万 円)	21,100
営 業 利 益 (百 万 円)	1,800
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 (百 万 円)	800

なお、本業績予想は、作成時点で入手可能な情報と過去の実績、傾向等を参考に置いた一定の前提条件の下に算出していますことを、予めご了承お願いいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297	2,828
受取手形及び売掛金	2,675	2,332
商品及び製品	6,400	4,932
原材料及び貯蔵品	3,125	2,296
その他	173	124
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	14,669	12,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,440	11,512
減価償却累計額	△8,703	△8,950
建物及び構築物（純額）	2,736	2,561
機械装置及び運搬具	23,738	24,179
減価償却累計額	△22,528	△22,890
機械装置及び運搬具（純額）	1,210	1,288
土地	9,300	9,315
リース資産	518	537
減価償却累計額	△143	△176
リース資産（純額）	375	360
建設仮勘定	312	188
その他	2,396	2,490
減価償却累計額	△2,099	△2,339
その他（純額）	296	151
有形固定資産合計	14,231	13,866
無形固定資産	84	79
投資その他の資産		
投資有価証券	313	313
繰延税金資産	304	394
退職給付に係る資産	26	34
その他	95	81
貸倒引当金	—	△3
投資その他の資産合計	739	820
固定資産合計	15,055	14,766
資産合計	29,725	27,279

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,139	624
短期借入金	13,145	12,000
1年内返済予定の長期借入金	11	—
リース債務	36	40
未払法人税等	2	2
賞与引当金	58	86
修繕引当金	120	—
その他	1,078	1,105
流動負債合計	15,594	13,860
固定負債		
長期借入金	5,079	3,601
リース債務	376	357
再評価に係る繰延税金負債	2,891	2,962
退職給付に係る負債	34	41
特別修繕引当金	—	35
その他	76	42
固定負債合計	8,457	7,040
負債合計	24,051	20,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	65	65
利益剰余金	504	1,201
自己株式	△674	△674
株主資本合計	△3	693
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	5,548	5,477
為替換算調整勘定	129	207
その他の包括利益累計額合計	5,677	5,684
純資産合計	5,673	6,378
負債純資産合計	29,725	27,279

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）	当連結会計年度 （自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）
売上高	22,045	19,776
売上原価	17,470	16,226
売上総利益	4,575	3,550
販売費及び一般管理費	2,329	2,377
営業利益	2,245	1,173
営業外収益		
受取利息	3	14
受取配当金	27	10
受取保険金	1	7
受取賃貸料	22	22
為替差益	—	31
その他	25	22
営業外収益合計	79	110
営業外費用		
支払利息	572	566
為替差損	35	—
その他	34	36
営業外費用合計	642	602
経常利益	1,682	680
特別利益		
固定資産売却益	0	—
補助金収入	6	8
特別利益合計	6	8
特別損失		
固定資産除却損	11	21
減損損失	17	47
特別損失合計	29	68
税金等調整前当期純利益	1,658	620
法人税、住民税及び事業税	24	15
法人税等調整額	△142	△92
法人税等合計	△117	△77
当期純利益	1,776	697
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,776	697

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	1,776	697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
為替換算調整勘定	113	78
土地再評価差額金	—	△70
その他の包括利益合計	112	7
包括利益	1,889	704
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,889	704
非支配株主に係る包括利益	—	—

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	65	△1,268	△674	△1,776
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩			△3		△3
親会社株主に帰属する当期純利益			1,776		1,776
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	1,772	—	1,772
当期末残高	100	65	504	△674	△3

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	0	5,544	16	5,560	3,784
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩					△3
親会社株主に帰属する当期純利益					1,776
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△0	3	113	116	116
当期変動額合計	△0	3	113	116	1,889
当期末残高	—	5,548	129	5,677	5,673

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	65	504	△674	△3
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩			△0		△0
親会社株主に帰属する当期純利益			697		697
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	697	—	697
当期末残高	100	65	1,201	△674	693

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,548	129	5,677	5,673
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩				△0
親会社株主に帰属する当期純利益			—	697
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△70	78	7	7
当期変動額合計	△70	78	7	704
当期末残高	5,477	207	5,684	6,378

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,658	620
減価償却費	946	862
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	27
修繕引当金の増減額 (△は減少)	68	△120
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	6
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	—	35
受取利息及び受取配当金	△31	△24
支払利息	572	566
為替差損益 (△は益)	40	1
受取保険金	△1	△7
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
減損損失	17	47
補助金収入	△6	△8
固定資産除却損	11	21
売上債権の増減額 (△は増加)	519	349
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△565	2,312
仕入債務の増減額 (△は減少)	△123	△518
未払金の増減額 (△は減少)	△234	△89
未払又は未収消費税等の増減額	345	103
その他	△72	46
小計	3,152	4,235
利息及び配当金の受取額	30	25
保険金の受取額	1	7
利息の支払額	△206	△566
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△34	△15
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,943	3,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△151	△500
有形固定資産の売却による収入	0	—
補助金による収入	6	8
その他	△4	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149	△596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,306	△1,178
長期借入れによる収入	30	—
長期借入金の返済による支出	△53	△1,511
配当金の支払額	△0	△0
その他	△38	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,367	△2,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	71
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	461	431
現金及び現金同等物の期首残高	1,835	2,297
現金及び現金同等物の期末残高	2,297	2,728

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

1. 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日）等を第1四半期連結累計期間の期首から適用しています。これによる当連結会計年度に与える影響はありません。

2. 特別修繕引当金

従来、定期修繕は毎年行っていたことから、流動負債の修繕引当金として計上していましたが、2年又は4年毎の法定検査が認められたことにより、定期修繕も2年又は4年毎に行うことになりました。これに伴い当連結会計年度より、固定負債の特別修繕引当金として計上する方法に変更しています。この変更に伴う損益への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは、ワックス及び関連製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、ワックス及び関連製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

従来「石油精製及び石油製品」としていたセグメント名称を、当社グループの事業内容をより適切に表現するため、当連結会計年度より「ワックス及び関連製品」に変更しています。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しています。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	ワックス	重油	その他	合計
外部顧客への売上高	20,194	1,703	147	22,045

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	アジア (日本を除く)	その他	合計
15,504	1,099	4,670	771	22,045

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア (日本を除く)	合計
13,529	702	14,231

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
安藤パラケミー株式会社	2,611	ワックス及び関連製品の製造販売事業

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	ワックス	重油	その他	合計
外部顧客への売上高	18,727	935	113	19,776

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

日本	北米	アジア （日本を除く）	その他	合計
14,267	818	4,149	541	19,776

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

日本	アジア （日本を除く）	合計
13,344	521	13,866

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
安藤パラケミー株式会社	2,589	ワックス及び関連製品の製造販売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	287.30円	322.97円
1株当たり当期純利益	89.96円	35.33円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	58.65円	27.99円

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,776	697
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,776	697
普通株式の期中平均株式数（株）	19,749,253	19,749,253
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（百万円）	242	222
（うち支払利息（税額相当額控除後）（百万円））	(242)	(222)
普通株式増加数（株）	14,673,891	13,119,964
（うち新株予約権付資本性劣後ローン（株））	(14,673,891)	(13,119,964)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。